

令和4年度第1回広島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和4年7月29日（金）10時～12時
- 2 開催場所 広島職業能力開発促進センター本館3階大教室
- 3 主な議題
 - (1) 令和3年度業務実績について
 - (2) 令和4年度業務計画及び進捗状況について
- 4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

(訓練全般について)

- ・インスタグラムやグーグル広告についても今後の展開について期待している。
- ・大規模事業所の閉鎖に伴う失業がこれから本格化するので転居を伴わない失業なき労働移動の実現に向けて取り組んでもらいたい。

(離職者訓練について)

- ・職業訓練は就職するためのスキルアップであるので、就職先まで確保しますといったPRができるのではないかと考える。異業種に転換する場合などにハードルが高いと思われるが初めてであっても違う職種に就職できる、どのようなところに就職できてどういう生活ができるといった成功例といったものを発信してはどうか。

(在職者訓練について)

- ・自動車業界においては、生産量がやっと増えてきているところである。このような中で、セミナーを受けたくても人を出せない状況もあるので、募集して集まらないからと言って中止にせず気長に待ってもらいたい。ロボットなどの新しい講座を設定していただいているので、引き続き企業の要望を聞いていただいてコース設定してほしい。
- ・福山短大の在職者訓練で令和3年の実績が減っている理由として、コロナ禍で濃厚接触者が増えて現場が回らず人が出せない状況がある。ニーズはあるのでメニューを減らすことがないようお願いしたい。

(高度技能者養成訓練について)

- ・応募倍率が年々増えていることは日ごろの学校の取り組みのたまものであると考える。一方、退学者が一定程度出ている状況であるがこういったミスマッチが起こらないよう一人一人の学生に寄り添って対応いただきたい。コロナ禍で経済的に厳しい学生に対して減免制度を活用して就職につなげていただきたい。

(求職者支援訓練について)

- ・就職氷河期世代を対象とした求職者支援訓練などについては、ハローワークに来ないような方など対象者に情報が届かないといった課題があるが市などに相談に来た人に対して直接アクセスできるような場が必要と考える。

令和4年度広島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会委員

- ・岡田 行正 広島修道大学 商学部教授
- ・中迫 正一 独立行政法人国立高等専門学校機構
呉工業高等専門学校 機械工学分野教授
- ・高橋 清子 中国新聞社 論説委員
- ・藤井 則正 日本労働組合総連合会広島県連合会 事務局長
- ・長谷川 信男 広島県商工会連合会 専務理事
- ・鳥越 直樹 広島県中小企業団体中央会 専務理事
- ・伊木 剛二 広島県商工会議所連合会 事務局長
- ・小川 智弘 福山商工会議所 専務理事
- ・桑原 立人 東友会協同組合 専務理事
- ・前田 清志 広島県電気工事工業組合 専務理事
- ・田中 誠一 広島労働局 職業安定部長
- ・大庭 直美 広島労働局 雇用環境・均等室長
- ・玉岡 政義 広島県商工労働局 職業能力開発課長
- ・山根 かおり 広島市経済観光局 雇用推進課長

(順不同、敬称略)